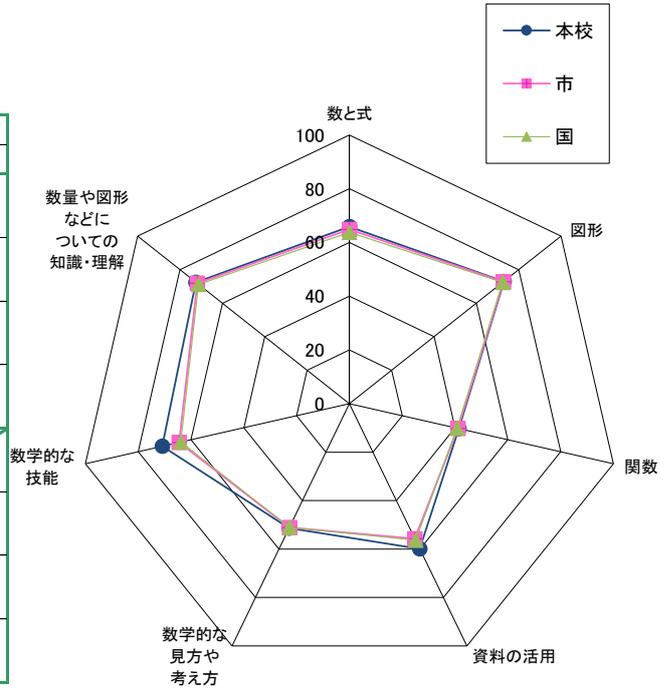


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【数学】

| 分類 | 区分 | 本年度 | | |
|----|-------------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 国 |
| 領域 | 数と式 | 65.9 | 64.9 | 63.8 |
| | 図形 | 73.0 | 72.8 | 72.4 |
| | 関数 | 41.4 | 41.1 | 40.8 |
| | 資料の活用 | 59.9 | 55.7 | 56.3 |
| 観点 | 数学への関心・意欲・態度 | | | |
| | 数学的な見方や考え方 | 51.3 | 51.1 | 51.0 |
| | 数学的な技能 | 70.9 | 64.5 | 63.9 |
| | 数量や図形などについての知識・理解 | 72.5 | 71.9 | 71.3 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|-------|---|---|
| 数と式 | ○平均正答率は全国平均を2.1ポイント上回っている。 ○数の集合と四則計算の可能性に関する問題で、全国平均と比べて6.5ポイント上回っている。 ●文字を使って表された数が、どんな数かを答える問題では正答率が、全国平均を4.8ポイント下回っている。 | ・基本的な計算の技能は身に付いているが、より速く正確に計算できるように、反復練習の機会を設ける。 ・言葉の意味などの知識が不十分なため、間違えてしまうことがあるので、小テストなどを利用して数学に関する知識の定着を図っていく。 ・文字を使用した数の表し方について、随時確認する機会を設ける。 |
| 図形 | ○平均正答率は全国平均を0.6ポイント上回っている。 ○三角形の合同に関する問題では、全国平均を3.1ポイント上回っている。 ●平行移動に関する問題や反例の意味に関する問題において、全国平均をわずかに下回っている。 | ・図形の特徴に関して理解不足などがあるので、いろいろな面から図形を捉えられるようにする。 ・図形に関する知識・理解については、しっかり身に付いている生徒が多い。今後はさらに筋道を立てて説明する力を高めるため、言語活動をより多く取り入れていく。 |
| 関数 | ○平均正答率は全国平均を0.6ポイント上回っている。 ○反比例の表から式を求める問題では、全国平均を9.5ポイント上回っている。 ●式やグラフを用いて求める方法を説明する問題では、全国平均を6.4ポイント下回っている。 | ・表・グラフ・式との関連性を意識した授業を取り入れ、それぞれの表し方のよさを感じられるようにするとともに、問題にあった表し方を活用できる力を身に付けられるようにする。 ・日常生活に密着した問題を解く機会を多く設け、関数的な思考力を育てる。 ・応用問題を取り入れ、自分の言葉で説明する力を付けるために、言語活動を多く取り入れる。 |
| 資料の活用 | ○平均正答率は全国平均を3.6ポイント上回っている。 ○確率を求める問題では、全国平均をやく10ポイント上回っている。 ●最頻値を求める問題では、全国平均を1.9ポイント下回っている。 | ・1つの資料を表や棒グラフ、円グラフなどのさまざまなグラフに表すことや、それらのグラフから傾向を読み取る機会を設ける。 ・資料の読み取りや活用は、他教科との関連性も高いので連携を図って取り組んでいく。 |